

# 日本計量新報

計測と科学  
日本計量協会  
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
TEL: 03-5561-1111 FAX: 03-5561-1112  
E-MAIL: jic@jic.or.jp  
http://www.jic.or.jp

Yamaha  
清潔な環境を創造する  
安全な電子レンジと自動販売機  
計測・検査機器・計測機器  
電子レンジ・自動販売機  
計測機器・計測機器



UDS-1VI/N-WP  
天和製衡株式会社  
TEL: 03(76) 818-6577

## 今週の主な記事

- 第57回計量士国家試験 JEMICフォーラム2006開催①面
- 2006分府県 競況 社連協会 JQA校業務移管 ②面
- 日電検・フィンランド JEMICフォーラム2006 ③面
- 寄稿 横須賀健治氏、穂坂光司氏 ④面
- 寄稿 黒須茂氏、第14回品質工学奨励大会報告(3) ⑤面
- 資料・計量標準の供給開始と校正範囲の拡大(6) ⑥面
- 寄稿・齊藤勝夫氏、計量とくち×メモ、社説 ⑦面
- 新製品 A・D・インダ、大場計器が大田フレンド、ほか ⑧面

# 第57回計量士国家試験

## 2007年3月4日、全国9カ所で実施

### 計量行政の重要な担い手

第57回計量士国家試験が、2007年3月4日(日)に全国9カ所で開催される。10月16日(月)から10月31日(火)まで出願を受け付ける。受験希望者は、希望試験地の各経済産業局担当課へ、願書を郵送する。昨年度の合格者は、一般計量士249名(合格率25.8%)、環境計量士(濃度関係)590名(同12.0%)、環境計量士(騒音・振動関係)206名(同15.5%)となっている。経済産業省が主導する計量制度の見直し過程でも、計量士の活用が方向性にうたわれており、今後も社会の重要な役目を担う国家資格であるといえる。

経済産業省は、第57回計量士国家試験の試験実施地を、高松市、福岡市、那覇市、仙台市、東京都、札幌市、広島市、名古屋市の9カ所を告示した。今年度は2007年3月4日(日)に実施する。試験地は、札幌市、仙台市、東京都、那覇市、広島市、名古屋市の9カ所。

理を的確に行うために必要な知識経験を有する者として経済産業大臣により登録された者。主な職務に、特定計量器の検査、定期検査の代検査などがある。

計量制度検討小委員会がまとめた報告書案には、地方自治体が行う立入検査においても計量士を活用する案が盛り込まれており、民間開放へ向かう政府改革案の中でも、その役割が期待されている。

### 受験概要



▽一般計量士

【願書受付期間】10月16日(月)～10月31日(火)(郵送のみ、当日消印有効)

【受験手数料】いずれの区分も受験手数料として、8500円の収入印紙を受験願書に貼付する。(受験票送付のため、必ず50円切手を受験願書の所定の場所に貼付)

【受験願書受付先】受験を希望する試験地の各経済産業局担当課(全国9ヶ所)へ、郵送で申し込みをする。

【提出書類】計量士国家試験受験願書(試験科目の免除を受けようとする者は、既に合格した計量士区分の合格証書の写しを受験願書裏面に貼付)

【受験願書配布】10月2日(月)～10月31日(火)、土曜・日曜・祝日を除く9時30分から17時まで、各経済産業局担当課(全国9カ所)において配布。郵送を希望する場合、140円切手(2部は200円、3部は240円、4部から8部は390円切手)を貼り、宛名及び希望部数を明記した返信用封筒(角形2号、A4版が入る大きさ)を同封し、請求用封書の表に「計量士願書〇部希望」と明記のこと。(1回につき8部まで)

【合格発表】07年5月末頃(予定)。合格者の受験番号を官報、及び経済産業省ホームページ(<http://www.meti.go.jp>)に掲載し、合格証を郵送する。不合格者には特に通知しない。試験の可否結果の照会には、一切応じない。

【受験資格】特に制限はなく、誰でも受験できる。(受験願書の配布、受付先は②面に掲載)

### 日本電気計器検定所

## JEMICフォーラム2006

### フィンランドのサロ氏がMIDの現況伝える

日本電気計器検定所 長は9月6日、「JEMICフォーラム2006」を東京都品川区のきゅりあん1階小ホールで開催した。

今回のテーマは「最新のメータリングシステムの動向」と題し、電気、ガス、水道メータ等のユーティリティ

広報の役目も、大事な柱であると考え、計量法見直しが進んでいるが、電気計器の検定のあり方についても対応していきたい。国の科学技術基本計画に知的基盤の充実が謳われており、これに対しても取り組んでいくと日電検の方針を明らかにした。

今回は、フィンランドの大手メーカー「エネルギーメット社」で渉外部長を務めるサロ氏が、同フォーラムのために来日した。IEC(国際電気標準会議)TC13(電力計量専門部会)の国内委員長で、電気計器に携わって30年のサロ氏が、EU圏内でもとくに電気自由化が進んでいる北欧のメータリングシステムについて、現況を紹介した。また、MID(欧州計量器指令)施行を来月に控え、MIDに適合させるための仕組みや、技術基準の線引きをどう

子式電力計システムについて講演した。

電力計料金の単価は長らく一律だったが、1990年代から、顧客ニーズに対応した料金メニューを始めた。より多様化、細分化するサービスの変遷と合わせて進化する電力計システムについて紹介した。

子式電気メータの、機能向上や適用対象の拡大を、わかりやすく説明した。また、ネットワーク化の進展で普及が見込まれる、自動検針システム、接続供給サービスの概要も紹介した。

(次号以下につづく)



「最新のメータリングシステムの動向」と題し、電気、ガス、水道メータ等のユーティリティ

講演に先立ち、大野理事長が挨拶した。日電検の業務は、電気計器の検定・検査や標準供給のほかに、電気取引の適正な実施を広く社会に伝える

湿度の校正は SATO

株式会社 佐藤計量器製作所

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1

TEL: 03-5561-1111 FAX: 03-5561-1112

E-MAIL: jic@jic.or.jp

http://www.jic.or.jp